

【政務活動報告書（県内）】

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
30.4.29	米子市弥生町	だんだん広場	連合鳥取会長外	メーデー大会参加	4-17
30.5.16	鳥取市	県庁応接	知事	会派要望	5-12
30.5.18	米子市角盤町	米子市公会堂	米子市長外	開館60周年記念式典	5-13
30.7.13	米子市皆生	皆生グランドホテル天水	県商工労働部外	GTI地方政府代表団歓迎レセプション参加	7-3
30.7.20	鳥取市	県議会控室	危機管理局長外	島根原発勉強会	7-5
30.8.8	鳥取市	県立とりぎん文化会館梨花ホール	鳥取県人権教育推進協議会役員	第43回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集	8-4
30.8.30	鳥取市	ホテルモナーク鳥取	連合鳥取会長外	連合鳥取関係者との意見交換	8-12
30.10.21	米子市角盤町	米子市公会堂	大山開山1300年祭実行委員会	「大山山麓の歴史・刀剣シンポジウム」参加	10-4
30.11.5	鳥取市	県庁応接	知事	会派要望	11-4
30.11.15	倉吉市山根	未来中心	連合鳥取役員	連合鳥取大会出席	11-6
30.11.15	鳥取市東町	県議会控室	県執行部	政調政審	11-7
31.1.15	鳥取市	県庁応接	知事	会派要望	1-6
31.1.18	鳥取市末広温泉町	白兔会館	連合鳥取役員	新春の集い参加	1-9
31.1.28	鳥取市東町	県議会控室	県執行部	政調政審	1-15
31.1.29	鳥取市東町	県議会控室	県執行部	政調政審	1-16

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	鳥取県議会「会派民進党」と島根県議会「民主県民クラブ」との合同研修会
活動年月日	H30. 4. 24～4. 25
場 所	島根県浜田市、邑智群川本町、雲南市飯南町
活動の相手方	島根県議会民主県民クラブ外
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>鳥取島根両県の諸課題について、現地事例を調査するとともに情報交換により施策提言や会派活動に資する。 地域包括ケアシステムの構築状況について調査する。</p> <p>【内容】</p> <p>(3) 仁寿会 加藤病院 日時：4月25日（水）9：45～11：15 場所：島根県邑智郡川本町 383-1 内容：地域包括ケアシステムの構築状況について</p> <p>(4) 飯南町立 飯南病院 日時：4月25日（水）13：30～15：00 場所：島根県雲南市飯南町頓原 2060 内容：地域包括ケアシステムの構築状況について</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>島根の先進的な地域ケア包括システムの実践を紹介いただき、また意見交換ができた。鳥取県の取り組みを調査したうえで、鳥取県に取り入れていきたい。</p>
関連領収書番号	4-10、4-11、3-14

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	子育て議連 企業主導型保育事業の問題点等について内閣府・厚生労働省との意見交換会
活動年月日	2018年4月26日
場 所	中央合同庁舎第8号館8F822会議室
活動の相手方	内閣府企画官 児玉泰明外 厚生労働省 保育課課長補佐 斎藤克也外
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 鳥取県内における企業主導型保育事業の問題点等を具体例を挙げて指摘し、改善を求める。</p> <p>【内容】 安田優子子育て議連会長以下9名で内閣府・厚労省と企業主導型保育事業の問題点等について意見交換した</p> <p>【結果（成果）等】 1時間にわたって問題点を指摘し改善を求めた。 引き続き鳥取県内での問題店解決に取り組みたい。</p>
関連領収書番号	4-12

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	合区の早期解消促進大会
活動年月日	2018年4月27日
場所	全国町村会館2階ホール 東京都千代田区
活動の相手方	地方自治確立対策協議会
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】鳥取・島根、高知・徳島の合区解消に向け地方6団体役員及び会員が集い、国に対し早期解消を求める大会に参加し、合区の早期解消を目指す。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地方6団体からの合区解消へのアピール</li> <li>○大会アピール</li> <li>○各政党からの来賓あいさつ</li> </ul> <p>【結果（成果）等】</p> <p>すべての政党から早期の合区解消の発言があった。この動きを大きな卯木気にしていかなければならない。県内においても機運づくりにつとめて行きたい。</p>
関連領収書番号	4-12

## 合区の早期解消促進大会

1 開催日時 平成30年4月27日(金) 午前11時00分～12時00分

2 場所 全国町村会館2階ホール (千代田区永田町1-11-35)

3 日程

(1) 開 会 (司会：全国町村会事務総長)

(2) 開会挨拶 全国町村会会長

(3) 証人に対する  
 全国町村議会議長会 鳥取県若桜町議会議長  
 全国町村会 島根県邑南町長  
 全国市議会議長会 島根県松江市議会議長  
 全国市長会 高知県高知市長  
 全国都道府県議会議長会 島根県議会議長  
 全国知事会 徳島県知事

(4) 大会アピール 全国町村議会議長会会長

(5) 来賓挨拶

自由民主党	橋本聖子参議院自由民主党議員会長
公明党	山本博司公明党参議院国会対策委員長
立憲民主党	森山浩行政治改革PT座長
希望の党	奥野総一郎筆頭副幹事長
民進党	足立信也政務調査会長
日本共産党	井上哲士日本共産党参議院国会対策委員長
日本維新の会	室井邦彦参議院幹事長
社会民主党	又市征治党首
沖縄の風	糸数慶子参議院議員

(6) まとめの言葉 全国市長会会長

(7) 閉 会

4 その他

- ・会場には駐車場がありません。また、車寄せも狭いのでご注意ください。
- ・受付はございません。資料はお席に配付しておりますので、直接、会場の指定座席に着席願います。
- ・大会出席者が多数のため、職員の席をご用意できません。大会開催中は第2会議室等でお待ちいただくよう、ご協力願います。
- ・日程「(3) 合区解消に関する発言」の中で、本会発言者の大屋副会長(島根県議会議長)の順番が来たら、司会から本会出席者一同を紹介します。司会の進行により、自席にてご起立、一礼願います。その後、大屋福会長が意見発表をします。
- ・建物内に喫煙場所はありません。
- ・大会アピールにつきましては、当日まで非公表としておりますので、お取扱いにはご注意願います。

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	自治創造学会 研究大会 参加
活動年月日	2018年5月10日、11日
場 所	明治大学 アカデミーコモン棟 東京都千代田区神田駿河台1-1
活動の相手方	自治創造学会
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 研究大会に参加し、今日的な行財政政課題に対し理解を深める。</p> <p>【内容】</p> <p>■第1日目：5月10日（木）          《講演》高橋 進（㈱日本総合研究所理事長）          「人生100年時代の人作り革命」          《パネルディスカッション》「若者たちの挑戦—人口減少社会の地域デザイン」          パネリスト          伊藤 文弥（NPO法人つくばアグリチャレンジ副代表理事）          横山 太郎（Co-Minkan普及実行委員会・医師）          李炯 植（NPO法人Learning for All代表理事）          井上 貴至（総務省（現在愛媛県市町振興課長））          パネリスト兼コーディネーター          山崎 亮（㈱studio-L代表取締役）          《講演》菅 義偉（内閣官房長官・衆議院議員）          「人生100年時代の政府の取組み」</p> <p>■第2日目：5月11日（金）          《講演》佐々木 信夫（中央大学名誉教授・（社）日本国づくり研究所理事長）          「これからの日本をどうする」          《講演》雄谷 良成（社会福祉法人佛子園理事長）          「ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来」          《講演》伊藤 明子（国土交通省住宅局長）          「空き家対策と活用策」          《講演》北川 正恭（早稲田大学マニフェスト研究所顧問・元三重県知事）          「人口減と対峙する地方議会」          《講演》新藤 義孝（元総務大臣・衆議院議員）          「日本の目指す道」</p> <p>【結果（成果）等】          今日的な日本の課題について理解を深めた。急速に進む少子高齢化にどのように向かっていくのか、かすかな光が見えた。鳥取県政に生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	5-5, 5-6, 5-7

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	ABLE 2018 June 「フィンランドの教育に学ぶ」へ参加
活動年月日	2018年6月3日
場 所	内田洋行東京本社 ユビキタス協創広場 CANVAS (東京都中央区新川 2-4-7)
活動の相手方	ABLE 事務局 今井むつみ慶応大学教授
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】教育水準が世界一といわれるフィンランドの教育を学び、今後の日本の教育について考える</p> <p>【内容】</p> <p>《導入》今井むつみ (慶応大教授) 「フィンランドの教育に学ぶ」 海外の教育理念制度の説明、日本の教育との相違点を説明</p> <p>《講演》エルノ・レヘティネン (トゥルク大学教授) 「フィンランドのきょいく目標、実践、」社会</p> <p>《講演》福田誠治 (都留文科大学学長) 「フィンランドの教育の意味と地球の将来」</p> <p>《ディスカッション》 今井むつみ、エルノ・レヘティネン、福田誠治 大久保昇 (内田洋行社長)</p> <p>終了後意見交換会</p> <p>【結果 (成果) 等】 改めて、フィンランドと日本の教育の違いを実感した。日本でも遅ればせながらアクティブラーニング (対話的で深い学び) が本格導入実践される。ほんとうの意味で、子どもたちが考える力をつけていくための仕組みを鳥取県の教育行政の中に生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	6-1, 6-2

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	中国電力島根原子力発電所調査（会派民主県外調査）
活動年月日	2018年6月22日
場所	松江市 中国電力島根原子力発電所
活動の相手方	中国電力電源事業本部副本部長外
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 島根3号機規制適合審査申請にあたり、改めて3号機について現地調査を行い安全性や申請の妥当性について検討する</p> <p><b>【内容】</b> 現地調査及び意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根原子力発電所～（松江市鹿島町片句 654-1）</li> <li>・島根原子力発電所の安全対策について</li> </ul> <p><b>【結果（成果）等】</b> 3号機の新しい安全設備等について説明を受けた。 しかし、福島原発事故のあまりにも悲惨な状態が今も続いている現状から、本当に人間がコントロールできるものなのか漠とした不安は一掃されなかった。 日本は脱原発にかじを切るべきと改めて意思を固くした。</p>
関連領収書番号	3-14



政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	前川喜平前文部事務次官講演会 参加
活動年月日	2018年6月26日
場 所	松江テルサ 松江市朝日町 478-18
活動の相手方	前川喜平前文部事務次官
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 日本の教育について理解を深め、今後の在り方を考える</p> <p>【内容】 講演 前川喜平（前文部科学事務次官） 「これからの教育」 ～少子化や子どもの貧困など学校教育を 取り巻く情勢とこれからの在り方について～</p> <p>【結果（成果）等】 あつという間の90分だった。 前川氏の問題点の指摘は逐一そのとおりと感じた。 ○子どもの貧困は金だけでなく、人間関係も希薄（片親と子どもだけ孤立） ○毎年学校数が1%減っている。地域にとって学校は非常に重要 ○人口減少→人で不足→外国人労働者増：まったく無責任 事実上の移民として定着する覚悟をもって受け入れるべき ○外国人を受け入れるためには公立の日本語学校をつくるべき ○日本社会はあらゆるところで格差が拡大→子どもにしわ寄せが ○教育贈与（1500万円無税）は早くやめるべき 等々</p> <p>一つ一つの言葉をかみしめた。ぜひ一つ一つ鳥取県内でも頑張っていきたいと考えた。</p>
関連領収書番号	6-7

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	林活議連 全国連絡会議平成 30 年度定時総会
活動年月日	2018 年 7 月 23 日 24 日
場 所	東海大学校友会館 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル
活動の相手方	林活地方議連全国連絡会議
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>林活議連 全国連絡会議平成 30 年度定時総会に参加し、全国情勢や課題を共有する。</p> <p>【内容】</p> <p>○定時総会 来賓 沖修司林野庁長官</p> <p>○講演 小坂善太郎 林野庁森林整備部計画課長 「新たな森林管理システムと森林環境税について（仮題）」</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>森林・木材関連予算は当初予算はわずかで毎年 12 月の特別国会での補正対応となっている。これを根本的解消しなくては安定的な森林保全、利用はおぼつかない。新しい森林環境税がいかに機能するか本当に期待する。しかしながら、市町村に対し人口で配分されるため、森林のない都市に多くが交付される。本当に木材利用促進につながるのか非常に疑問。今後も注視しなければならないと感じた。</p> <p>今ようやく鳥取県の林業が動き出している。この動きをますます応援しなければと考える。</p>
関連領収書番号	7-6

森林・林業・木材産業の活性化と豊かな山村の再生を目指して

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟

平成30年度

# 全国連絡会議定時総会

平成30年7月23日(月)

東京都千代田区霞が関3-2-5

「阿蘇の間」

(東海大学校友会館・霞が関ビル35階)

林活地方議連  
全国連絡会議

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番13号

三会堂ビル3階 日本林業協会内

電話 03(35886)8430 番

FAX. 03(35886)8434 番

E-mail: jfa@j-forestry.or.jp

平成 年 月 日

## 平成30年度定時総会次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 議事
  - (1) 議案1号の1 平成29年度 事業報告について
  - (2) 議案1号の2 平成29年度 収支計算書について  
(監査報告)
  - (3) 議案2号の1 平成30年度 事業計画(案)について
  - (4) 議案2号の2 平成30年度 収支予算書(案)について
  - (5) 議案3号 平成30年度 会費の賦課及び徴収方法(案)について
  - (6) 議案4号 役員改選について
  - (7) その他
- 5 講演  
「新たな森林管理システムと森林環境税について(仮題)」  
林野庁森林整備部計画課長 小坂 善太郎 氏
- 6 閉会

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	日本水環境学会 第27回市民セミナー 豊かな里海の創生 ～沿岸域と河川流域の関係～
活動年月日	2018年8月3日
場所	地球環境カレッジホール(いであ(株)内) (東京都世田谷区駒沢)
活動の相手方	日本水環境学会
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 市民セミナーに参加し、里海と河川流域の関係を理解し持続可能性を探る。</p> <p><b>【内容】</b> <b>《講演》</b> ○植田明浩（環境省） 「沿岸環境管理の考え方と里海づくりの現状」 ○山下洋（京都大学フィールド科学教育研究センター） 「沿岸魚類から見た森里海のつながり」 ○小松輝久（横浜商科大学） 「開放性内湾における豊かな里海の実現を目指して：南三陸津川湾を例として」 木庭慎治（福岡県立伝習館高校） 「柳川市内の掘割への二ホンウナギの復活に向けた取り組み」</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> 里海とは、人の手が加えられることにより生物多様性と生物生産性が高くなった沿岸海域。健全な里海、すなわち豊かで多様な生態系と自然環境を保全することで、里海から多くの恵みを得ることができる。 一方で、そのバランスが崩れた時（中海）元に戻すの容易ではない。目標をもって、中海環境修復に取り組みたい。また山陰海岸および河川環境を守るための政策作りをしていくことの必要性を感じた。</p>
関連領収書番号	8-1、8-2、8-3



# 日本水環境学会 第27回市民セミナー

## 豊かな里海の創生 ～沿岸域と河川流域の関係～

### 開催主旨

里海は人の手が加えられた沿岸環境であり、日本では古くから水産・流通を基盤として多くの地域社会や文化が形成されています。このような沿岸環境では高い生物生産性と生物多様性の維持が可能であると言われ、陸地という里山と同じく人と自然が共生する場所でもあります。健全な里海、つまり豊かで多様な生態系と自然環境を保全することで、私たちは多くの恵みを得ることができます。

健全な沿岸環境を保全するためには隣接する河川流域の役割を適切に理解しておくことが重要です。里海の社会的重要性が認識されつつあり、学術、行政、産業界、市民において沿岸環境管理の取り組みが進められており、その結果として里海づくりに必要な科学的知見、環境保全の方法論、各地での取り組みの経験などが整理されつつあります。

このような背景を受けて本市民セミナーでは、“豊かな里海の創生”をテーマとして取り上げ、持続可能な里海づくりに関する基本的な考え方、最新の科学的知見、市民による取り組みなどをご紹介します。

学会員に限らず一般の方や学生もぜひお気軽にご参加下さい。

**主催：** 公益社団法人 日本水環境学会

**日時：** 2018年8月3日(金) 10:50~16:30

**会場：** 東京会場：地球環境カレッジホール(いであ(株)内) (東京都世田谷区駒沢)

<http://www.gecollege.or.jp/gec/gec.htm#02>

大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール (大阪市住之江区南港北)

<http://ideacon.jp/company/office/osaka.html>

本セミナーはテレビ会議システムにより、東京と大阪で同時に開催します。

参加 無料!



### プログラム

10:20~ 受付

10:50~ 開会挨拶

11:00~ 沿岸環境管理の考え方と里海づくりの現状 (仮題)

環境省 森里川海プロジェクトチーム 奥田 直久(東京会場)

12:00~ 昼休み

13:00~ 沿岸魚類から見た森里海のつながり

京都大学 フィールド科学教育研究センター 山下 洋(大阪会場)

14:10~ 豊かな里海を創生するための流域管理の役割 (仮題)

横浜商科大学商学部 小松 輝久(東京会場)

15:20~ 柳川市内の掘割への二ホンウナギの復活に向けた取り組み

～「NPO法人SPERA森里海・時代を拓く」の足跡と理念～

福岡県立伝習館高校 木庭 慎治(大阪会場)

16:20~ 閉会挨拶

※ 講師の都合等で内容に一部変更のある場合があります。

**参加費：** 無料 (ただし、事前申込が必要です。先着順での登録となります)

**定員：** 東京会場150名、大阪会場100名

### 参加申し込み方法：

E-mail, FAXまたは郵便で、下記項目をご記入の上、お申し込み下さい。登録後、参加証 (ハガキ) をお送りします。

- ①参加者氏名 (フリガナ)、
- ②会員・非会員の別、
- ③会員の方は会員番号、
- ④希望受講会場 (東京・大阪のどちらかを選択)、
- ⑤連絡先 (住所、電話番号、E-mailアドレス、所属団体名など)

### 参加申し込み・問い合わせ：

(公社)日本水環境学会市民セミナー係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7-201

TEL. 03-3632-5351 FAX. 03-3632-5352

E-mail: togawa@jswe.or.jp

ホームページ: <http://www.jswe.or.jp>

本セミナーは公益財団法人  
河川財団の河川基金の助成  
を受けています。



河川  
基金

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	地域科学研究会 研修会 公共交通の担い手確保方策—深刻化する人手不足への処方箋
活動年月日	2018年8月22日
場 所	日本教育会館 東京都千代田区
活動の相手方	地域科学研究会 研修会
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 高齢者の免許返納が問題になる中、地域の公共交通の維持発展が欠かれない課題であるが、県内でもバス運転手不足が深刻な課題。解決策を探る。</p> <p>【内容】 《講演》 ○鈴木文彦（交通ジャーナリスト） 「交通事業の維持・改善とドライバー不足への業界・地域の対応」 ○吉田樹（福島大学経済経営学類准教授） 「超高齢社会に求められるラスト・ワン・マイルの交通システム構築」 ～多様な地域公共交通サービスの担い手確保～ ○清水弘子（NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長） 「くらしの足を支える担い手づくり～地域の力を活かせるか～」 ○石川貴美子（秦野市福祉部高齢介護課担当課長） 「〔秦野市〕福祉と交通部門との連携による移動ニーズへの対応」 ～訪問型サービスDとその後の取り組みの現状と課題～</p> <p>【結果（成果）等】 先進地域の取り組みを学び参考となった。 県内公共交通政策へ生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	8-8, 8-9, 8-10

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	シンポジウム「再生可能エネルギー100%の社会の実現に向けて」 ー日本のマルチステークホルダーの取り組みー 参加
活動年月日	2018年8月23日
場所	千葉商科大学 千葉県市川市国府台 1-3-1
活動の相手方	100%RE シンポジウム
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 原発ゼロ社会に向けて、持続可能なエネルギーへの転換に向けて、これからの各界の取り組みを取り入れ鳥取県の「緩やかなエネルギー革命」及び脱原発への道筋を探る。</p> <p>【内容】 ○基調講演 ラッセ・プルーン CAN インターナショナルエネルギー転換担当代表</p> <p>○パネル討論1 「再生可能エネルギー100%宣言の国内外の動向の最前線」 北島敬之（ユニリーバジャパン HD 代表取締役） ルーカス・セイファート（H&amp;M ヘネス&amp;マウリッツジャパン代表取締役社長） 中島恵理（長野県副知事） 原科幸彦（千葉商科大学学長） 三宅 香（イオン株式会社執行役環境・社会貢献・PR・IR 担当） &lt;ファシリテーター&gt; 大塚隆志（イクレイ日本顧問/地球環境戦略研究機関（IGES）上席研究員）</p> <p>○パネル討論2 『エネルギー転換の加速に向けて』 磯野久美子（自然電力グループ コーポレートサービス統括部門 責任者） 大倉紀彰（横浜市 温暖化対策統括本部企画調整部担当部長） ニコラ・ガイガー（ロクシタンジャパン株式会社 代表取締役社長） 小山勝弘（大和ハウス工業株式会社 環境部長） 孫崎 馨（外務省 国際協力局気候変動課課長） &lt;ファシリテーター&gt; 平田仁子 CAN-Japan 代表/気候ネットワーク理事</p> <p>【結果（成果）等】 世界及び国内での真摯な取り組みに感銘を受けた。孫崎外務所課長の「エネルギー転換の切迫感・環境がない」という言葉が印象的だった。本気になって取り組めば日本も鳥取県も「再生可能エネルギー100%」目指していけると確信した。鳥取県の「緩やかな」を確実なエネルギー革命としていきたい。</p>
関連領収書番号	8-9, 8-10

## シンポジウム

### 再生可能エネルギー100%の社会の実現に向けて

#### ー日本のマルチステークホルダーの取り組みー

##### 日時・場所

2018年8月23日(木) 13時～16時30分(開場 12:30)

会場:千葉商科大学 7号館 702教室(千葉県市川市国府台 1-3-1)

##### 趣旨

2015年に気候変動を防ぐための国際協定「パリ協定」が採択され、再生可能エネルギーの導入に向けた機運は、国内、そして世界で大きく高まっています。本シンポジウムでは、再生可能エネルギーの導入において先陣を切る国内外のガス事業者をお招きします。そして、持続可能なエネルギーへの転換に向けて、これからの各界の取り組みを加速させるために、活発な議論を交わします。本シンポジウムは、政府・地方自治体・企業・NGOのマルチステークホルダーの協働による「タラニア対話」として実施されます。また会場は、日本で初めて自然エネルギー100%大学を目指すことを打ち出した千葉商科大学において開催されます。

##### ※タラニア対話とは

タラニア対話とは、パリ協定の目標を達成するために、世界全体の温室効果ガス排出削減の取り組みに関する優良事例を共有し、目標達成に向けた取組意欲の向上を目指すものです。

##### プログラム

- 主催者代表挨拶 中根一幸 外務省 外務副大臣
  - 歓迎の挨拶 原科幸彦 千葉商科大学 学長
  - 基調講演 ラッセ・ブルーン CAN インターナショナル エネルギー転換担当代表
  - パネル討論「再生可能エネルギー100%宣言の国内外の動向の最前線」
- <パネリスト>
- 北島 敬之 エニリー・パワージャパン・ホールディングス株式会社 代表取締役 ジェネラルカンセル
  - ルーカス・セイファート イチ・アンド・エム ヘネス・アンド・マウリッツ・ジャパン株式会社 代表取締役社長
  - 原科 幸彦 千葉商科大学 学長
  - 中島 寛理 長野県 副知事
  - 三宅 香 イオン株式会社 執行役員 環境・社会貢献・PR・IR担当

##### <ファシリテーター>

- 大塚 隆志 イクレイ日本 顧問 / 地球環境戦略研究機関 (IGES) 上席研究員
- パネル討論 2 「エネルギー転換の加速に向けて」

##### <パネリスト>

- 磯野 久美子 自然電カグループ コーポレートサステナビリティ統括部門 責任者
- 大倉 紀彰 横浜市 温暖化対策統括本部企画調整部担当部長

ニコラ・ガイガー ロクシタン・ジャポン株式会社 代表取締役社長  
小山 勝弘 大和ハウス工業株式会社 環境部長  
孫崎 翠 外務省 国際協力局気候変動実践課長  
<ファシリテーター>

平田仁子 CAN-Japan 代表/気候ネットワーク理事  
○閉会の挨拶 菅川博義 環境省 環境大臣政務官

##### 参加費

無料

共催 外務省・環境省・イクレイ日本・CAN-Japan・日本気候リーダーズ・トーン・オブ・ジャパン (Japan-CLP)  
協賛 自然電力株式会社・大和ハウス工業株式会社

##### 協力

地球環境戦略研究機関 (IGES)・千葉商科大学・Climate Action Network International・The Climate Group・ICLEI - Local Governments for Sustainability

##### お問い合わせ

100%RE シンポジウム事務局 (CAN-Japan 事務局内)



政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	全労災 みんなのぼうさいフェスティバル 参加
活動年月日	2018年9月1日
場 所	コンベックス岡山
活動の相手方	全労災 みんなのぼうさいフェスティバル
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 防災への取り組みを勉強し鳥取県へ生かす</p> <p>【内容】</p> <p>○ステージイベント 子ども向けのステージ防災イベントで子どもの時からの意識付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災科学実験ショー Dr. ナダレンジャー（納口恭明国立研究開発法人防災科学技術研究所専門員）</li> <li>・災害救助犬の訓練実演</li> <li>・いざというときに役に立つ防災の話 国崎信江（危機管理教育研究所 代表）</li> </ul> <p>○防災ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローホイッスルづくり</li> <li>・ビニール袋で雨合羽づくり</li> <li>・負傷者搬送体験</li> <li>・段ボールで非常用トイレづくり 等々 子ども向けの体験コーナーが多数</li> </ul> <p>○展示コーナー 西日本豪雨災害写真展示等</p> <p>【結果（成果）等】 防災教育は子どもから、ということの重要性を改めて感じた。 鳥取県でも生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	9-1

20180001 全労済岡山 みんなのぼうさいエスティバール オフィシャルWebサイト  
 ノートブック: maskinote  
 作成: 2018/09/01 5:59  
 URL: https://zenrosai-daytime-event.jp/

ZENROSAI NEWS  
 3318Z004

追ってくる南海トラフ地震に備えて

# ぼうさいエスティバール

2018.9.1 (生) 10:00-16:00 無料駐車場あり 入場無料 観覧料1500円(会場)

この夏の西日本豪雨により被害を受けられた皆さまに  
 謝罪とお見舞い申し上げます  
 一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます

全労済 岡山地区本部

## 開催への想い

2018年7月6日に発生した「西日本豪雨」は、県下で61名の尊い命が奪われ、いまだ3名の方が行方不明となっています。

また、全壊・半壊・浸水家屋は14,000棟を超える大きな被害をもたらしました。犠牲となられた方々により災害の意を翌するとともに、被災者の一日も早い復興を願うものです。

災害はいつどこで発生するかわかりません。岡山県は自然災害の少ない地域といわれ続けてきましたが、今回の水害で決して岡山県も安全ではないことを目の当たりにしました。

一方、近い将来高確率で発生するといわれている南海トラフの巨大地震では、岡山県でも甚大な被害が想定されています。

災害から命を守るためには、日ごろから「自然災害の恐ろしさ」を学び、「災害に対する事前準備」を行い、「災害時に被害を最小限に留める行動」を身につけることが大切です。

全労済岡山推進本部では、多発する風水害や迫りくる南海トラフ地震に備え、岡山県民の防災意識高揚の一助になれればと考え「みんなのぼうさいエスティバール」を開催することとなりました。

このイベントをきっかけに、ご家族で防災・減災について話し合うきっかけとなれば幸いです。

全労済 岡山推進本部 本部長  
 二宮 卓志

イベント監修  
 全労済 岡山推進本部 木岡 薫男

防災士(日本防災士団体登録No.062747)  
 防災アドバイザー(日本ケアファイナル社登録防災士)  
 サハシ技術指導員(国際サハシ研究協会登録157)

2018年8月22日 全労済岡岡を更張しました  
 2018年8月20日 イベントタイムテーブルを掲載しました  
 2018年8月17日 主催者挨拶を掲載しました

## みんなのぼうさいエスティバール

いざという時に役に立つ防災の話を  
 12:00~13:00



危機管理アドバイザー  
 危機管理学会研究部 代表  
 國崎信江氏

災害にあったとき、非常用持ち出し袋にはどんなものが必要か、はぐれた家族との連絡方法や集合場所の確認など、その時どんな行動をとるべきか、日頃から家族で話し合うことが重要と書かれていますが、いざという時に役立つ防災の話を危機管理アドバイザーの国崎氏がお話しします。

Dr. ナダレンジャーの 防災科学更張ショー  
 10:30~11:40 13:30~14:10



Dr. ナダレンジャー

Dr. ナダレンジャーって何者? 正真正正のヒーロー? ではないが不審者? 突如現れたときとした科学者なのです。  
 (国字博士) 自身が考案した小道具を使って実験し、災害をわかりやすくみんなに教える楽しいショーをお見せします。お子様を招待には、防災科学更張ショーは必須です。

マスクットキヤアズ集合川  
 11:45~12:00



岡山県内のマスクット  
 キャラクターが  
 やってくる!

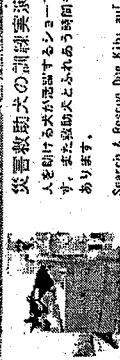
ももつら・うららち (岡山県)/ミココロ・ハコロ (岡山県)/チユッピー (徳島県)/ニーミン (徳島県)/ごんちゃん (津山市)/かたみくん (彦作市)/まにまろ (真庭市)/ピットくん (全労済)/ぐりんぼろ (全労済)

ローカルヒーローマシヤケンジャーショー  
 10:15~11:35 12:40~13:00



鬼神殿士  
 ジャケンジャーXエック  
 ス

本郷という名の英雄を守るヒーロー  
 鬼神殿士  
 ジャケンジャーXエック  
 ス  
 鬼神殿士ジャケンジャーXは岡山を  
 悪の組織「メガス」から守る「温  
 羅伝説」から生まれた雄のヒーロ  
 ーです!



災害救助犬の訓練実演  
 人を助ける犬が活躍するショーで  
 す。また救助犬とふれあう時間も  
 あります。

Search & Rescue Dog Kiba, auf

創作ダンス 岡山大学ダンス部  
 10:00~10:30 13:15~13:35



南海トラフが発生した時、お子様をい  
 ざで紹介  
 10:15~10:20

災害時の車の安全-ア-ン-入と脱出  
 法(全労済岡山地区本部岡山県建設部)  
 集合住宅の非常時ににおける脱出への  
 注意(全労済岡山地区本部岡山県建設部)

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	公開シンポジウム「セクシュアル・ハラスメントをめぐる法政策の現状と課題—ハラスメント根絶に向けて」
活動年月日	2018年9月3日
場所	日本学術会議講堂
活動の相手方	日本学術会議法学委員会ジェンダー法分科会
目的・内容・結果等	<p>【目的】 「ME Too」等で大きな問題となっているセクシュアルハラスメントについて法的な側面から勉強し、ハラスメント根絶に資する</p> <p>【内容】 第1部 ハラスメント根絶に向けた国内外の動き  <ul style="list-style-type: none"> <li>○浅倉むつ子（早稲田大学法学学術院教授）</li> <li>○井上久美枝（連合総合男女・雇用平等局総合局長）</li> <li>○谷口真由美（大阪国際大学グローバルビジネス学部准教授）</li> </ul> 第2部 セクシャルハラスメントの実態と課題  <ul style="list-style-type: none"> <li>○まきけいこ（元千葉県船橋市議／全国フェミニスト議員連盟共同代表）</li> <li>○林 美子（ジャーナリスト/メディアで働く女性ネットワーク代表世話人）</li> <li>○熊安貴美江（大阪府立大学高等教育推進機構准教授）</li> <li>○北仲千里（広島大学ハラスメント相談室准教授）</li> </ul> 第3部 パネルディスカッション セクシュアルハラスメント根絶に向けて  <ul style="list-style-type: none"> <li>○内藤 忍（労働政策研究・研修機構福主任研究員）</li> <li>○島岡まな（大阪大学法科大学院教授）</li> <li>○佐藤 香（パープルユニオン委員長）</li> <li>○浅倉むつ子（早稲田大学法学学術院教授）</li> <li>○井上久美枝（連合総合男女・雇用平等局総合局長）</li> <li>○谷口真由美（大阪国際大学グローバルビジネス学部准教授）</li> </ul> </p> <p>【結果（成果）等】 日本では定義が確立できていないが、外国では定義が「性差別と位置づけ、尊厳を傷つける行為」とはっきりしていることなど学んだ。ハラスメント根絶に向け努力していく。</p>
関連領収書番号	9-2

2018年6月8日、職場での暴力やハラスメントを減らすための条約策定をめざすことが、ILO総会において決定された。来年の総会で条約が採択され見込みである。条約批准の絶対的条件は、ハラスメント禁止法の制定。今日、多くの国がハラスメント禁止法をもっている。日本もまたハラスメント根絶に向けて法整備をすすめることが求められるが、課題は多い。

本シンポジウムでは、実態分析をふまえ、セクシュアル・ハラスメント根絶に向けて多様な立場から課題を共有し、展望を示したい。

司会 康江(日本学術会議第一部会員、東北大学大学院法研究科教授)

13:00 開会挨拶

司会 康江(日本学術会議連携会員、お茶の水女子大学名誉教授)

13:05 趣旨説明

司会 美保(日本学術会議副会長・第一部会員、ジェンダー法分科会委員長、奈良女子大学副学長・教授)

13:15~14:15

第1部 ハラスメント根絶に向けた国内外の動き

報告1 ハラスメント法政策の現状と課題

司会 むつ子(日本学術会議連携会員、早稲田大学法学院教授)

報告2 ハラスメント根絶に向けたILO条約の意義

司会 久美枝(日本労働組合総連合会(連合)総合男女・雇平等局総局長)

報告3 メディアにおけるセクシュアル・ハラスメント

司会 真由美(大阪国際大学グローバルビジネス学部准教授)

14:25~15:45

第2部 セクシュアル・ハラスメントの実態と課題

報告1 議員活動におけるセクシュアル・ハラスメントの実態と課題

司会 けいこ(元千葉県船橋市議/全国フェミニスト議員連盟共代表)

会場:日本学術会議  
 区六本木 7-22-34  
 京メトロ千代田線乃木坂5出口すぐ)  
 お問い合わせ先:みつなり  
 unari\*cc.nara-  
 ac.jp \*を@に直して



セクシュアル・ハラスメントをめぐる法政策の現状と課題  
 ハラスメント根絶に向けて



日本学術会議  
 SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

公開シンポジウム  
 2018年9月3日(月)  
 13:00~18:00  
 (開場12:30)

日本学術会議講堂

(入場無料・事前予約不要・先着300名)

◎報告2 ジャーナリズムにおけるセクシュアル・ハラスメントの実態と課題

林 美子(ジャーナリスト/「メディアで働く女性ネットワーク」代表世話人)

◎報告3 スポーツにおけるセクシュアル・ハラスメントの実態と課題

熊安 貴美江(大阪府立大学高等教育推進機構准教授)

◎報告4 キャンパス・セクシュアル・ハラスメントの実態と課題

北仲 千里(広島大学ハラスメント相談室准教授)

◆15:55~17:55

第3部 パネルディスカッション  
 —セクシュアル・ハラスメント根絶に向けて—

司会 三成 美保

パネリスト

○内藤 忍(労働政策研究・研修機構 副主任研究員) EUのハラスメント法政策についてコメント

○島岡 まな(日本学術会議連携会員、大阪大学法科大学院教授) フランス刑法(セクハラ罪)についてコメント

○佐藤 香(パープルユニオン委員長) 被害当事者からのコメント

○浅倉 むつ子

○谷口 真由美

○井上 久美枝

17:55 閉会挨拶

吉田 容子(日本学術会議連携会員、ジェンダー法分科会副委員長、弁護士(京都弁護士会))

◆主催:日本学術会議法学委員会ジェンダー法分科会  
 ◆共催:ジェンダー法学会、日本スポーツとジェンダー学会、奈良女子大学アジア・ジェンダー文化科学研究センター、科研費基盤研究(A)「ジェンダー視点に立つ『新しい世界史』の構想と『市民教養』としての構築・発信」(研究代表者:三成美保)  
 ◆後援:日本ジェンダー学会、ジェンダー史学会

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	ABLE2018September 脳科学を教育に生かす へ参加
活動年月日	2018年9月22日
場 所	内田洋行東京本社ユビキタス協創広場 CANVAS
活動の相手方	ABLE2018September
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 教育を脳科学の視点で見つめ直し、教育に生かす方法を学ぶ</p> <p>【内容】 13:00 オープニング 今井 むつみ 慶應義塾大学教授 13:15 Session 1 脳・学習・教育 エルスベス＝スターン スイス連邦工科大学教授 ラルフ＝シューマツハ スイス連邦工科大学 MINT-学習センター長 通訳・解説 今井むつみ 慶應義塾大学教授 16:00 Session 2 トークディスカッション 対談 安西祐一郎 日本学術振興会前理事長・文部科学省参与 高大接続改革担当 今井むつみ 慶應義塾大学教授 16:45 - 17:30 ディスカッションタイム 17:30 - 17:45 クロージング 大久保 昇 株式会社内田洋行社長 18:00 - 19:15 情報交換会・懇親</p> <p>【結果（成果）等】 文化的に正しいとの思い込みが壁をつくる。今壁のウォークスルーが求められていること。「教え込む-学ぶ」は身につけ方が全然違う。脳科学はまだまだの状況だ。ま負わされてはいけない。 まど、記憶に残る言葉を得た。やはり、自ら学ぶアクティブラーニングを正 kky 区的に進めていくべきと感じた。</p>
関連領収書番号	9-5、9-6

政務活動報告書

森 雅幹

活動事項	応用生態工学会 第22回東京大会 公開シンポジウム 参加
活動年月日	2018年9月23日
場 所	東京工業大学岡山キャンパス 東京都目黒区大岡山 2-12-1
活動の相手方	応用生態工学会 公開シンポジウム
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> ダムは洪水や渇水リスクの増大に対応する重要なインフラだが、環境への影響もあり、アセスメントに基づく様々な環境保全措置が実施されている。ダムの機能と生態系保全を両立させるため、ダム湖やダム下流の河川環境のより適切な管理が求められている。そこで公開シンポジウムを実施し、これらの課題に関する国内外の事例・知見を総括し、今後の課題や展望について学ぶ。</p> <p><b>【内容】</b> 招待講演 John. L. Sabo (アリゾナ州立大学教授) 「メコン川 アマゾン川の発電ダム開発と食料生産デザイン」 《講演》 ○角哲也(京都大学教授) 「日本及び世界における貯水池土砂管理の最新の知見」 ○竹門康弘(京都大学准教授講演) 「ダム下流河川の土砂環元事業と生態機能評価」 ○空閑 健(国土交通省水管理・国土保全局) 「ダム再生ビジョンについて」 ○中村圭吾(土木研究所) 『河川環境把握のための新技術』 ○根岸淳二郎(北海道大学) 『ダム下流域環境改善策の影響評価のアプローチと効果』 《パネルディスカッション》</p> <p><b>【結果(成果)等】</b> 事業アセスメントを望まれる環境目標の計画アセスメントへ変えるべき、全国的に砂礫河原が草・樹木へと変わっている。元に戻す努力をすべき。黒部ダムでは毎年排砂を行っているなど報告を受けた。県内においても、砂礫河原が減少し河川内の樹木が目立つ。ぜひ参考に県内河川環境を戻していきたい。</p>
関連領収書番号	9-6

**応用生態工学学会 第22回東京大会 開催案内**

**開催日時** 平成30年9月20日(木)～23日(日)

**日程:** 9月20日(木) エクスカーション(ハツ場ダム現場見学 他)  
 9月21日(金) 研究発表会 ポスター発表、自由集会  
 9月22日(土) 研究発表会 口頭発表、自由集会、懇親会  
 9月23日(日) 総会(午前)、公開シンポジウム(午後)

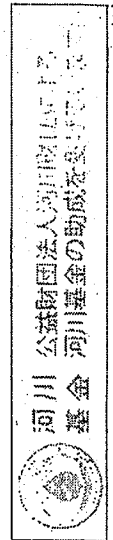
**会場:** 東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館(東京都目黒区大岡山2-12-1)

●申し込みおよび問合せ先  
 応用生態工学学会事務局  
 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7-5  
 麹町ロイヤルビル405号室  
 TEL: 03-5216-8401 FAX: 03-5216-8520  
 E-mail: tokyo\_22th@ecesi.com  
 [大会実行委員長: 吉村千洋(東京工業大学准教授)]

公開シンポジウム「ダム湖や周辺環境の保全と再生に向けてーダム再生ビジョンと環境保全ー」  
**<日時>** 平成30年9月23日(日曜日) 13:00～17:00  
**<場所>** 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール

**<開催主旨>**  
 ダムは近年の気候変動の顕在化による洪水や渇水リスクの増大に対応する重要なインフラですが、環境への影響もあり、メンテナンスに基づく様々な環境保全措置が実施されています。ダムの機能と生態系保全を両立させるため、ダム湖やダム下流の河川環境のより適切な管理が求められています。そこで公開シンポジウムを実施し、これらの課題に関する国内的の事例・知見を総括し、今後の課題や展望を議論します。

- <プログラム>**
- 13:00～13:05 挨拶・趣旨説明 吉村千洋大会実行委員長(東京工業大学准教授)
  - 13:05～14:00 招待講演(仮)「メコン川のダムの影響」 John.L.Sabo(アリゾナ州立大学教授)
  - 14:00～14:20 講演(仮)「土砂動態とダムに関する最新の知見」 角哲也(京都大学教授)
  - 14:20～14:40 講演(仮)「ダム下流生態系の管理と課題」 竹門康弘(京都大学准教授)
  - 14:40～15:00 講演(仮)「ダム再生ビジョンの紹介」 栗田晃久(国土交通省水管理・国土保全局調整官)
  - 15:00～15:20 講演(仮)「グリーンレーダー等新技術の活用」 中村圭吾(土木研究所環境研究グループ上席研究員)
  - 15:20～15:40 講演(仮)「ダムの影響と可能な改善策に関する話題提供」 根岸淳二郎(北海道大学准教授)
- (休憩)
- 15:50～17:00 パネルディスカッション  
 コーディネーター: 吉村千洋(東京工業大学准教授), パネリスト: 講演登壇者
- 17:00 終了予定



**後援予定** : 国土交通省関東地方整備局、河川財団、建設コンサルタント協会関東支部、土木学会関東支部、日本緑化工学会、日本景観生態学会

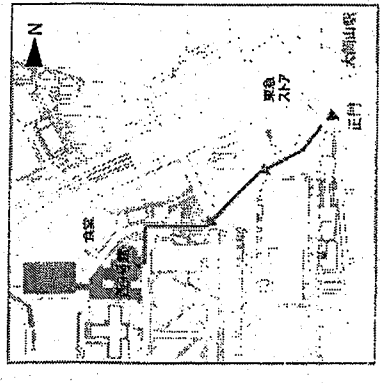
**応用生態工学学会 懇親会 公開シンポジウム**

東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館  
 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1  
 TEL: 03-5841-8205(吉村研究室)  
 URL: <https://www.titech.ac.jp/maps/>  
**[交通]**  
 東急大井町線・東急目黒線「大岡山」駅(急行停車駅)下車徒歩1分  
 <主要駅からの所要時間目安>  
 「東京」駅から約30分(JR京浜東北線・東急大井町線経由)  
 「羽田空港」から約50分  
 (東京モノレール・JR京浜東北線・東急大井町線経由)

**研究発表会** 正会員: 6,000円、非会員: 10,000円、学生(会員・非会員): 3,000円  
 参加費には発表講演料が含まれております。発表講演料のみ希望の方は、3,000円で販売しております。  
 ※大会期間中は9月21日(金)のみ字書きの営業があります。大学周辺には飲食店、スーパーマーケット、コンビニエンスストアがあります。別途1,000円(金)のみ字書きの用意が必要です。必要な方は参加申込みと同時に申し込みにください。  
**懇親会** 会員(正会員・賛助会員): 2,000円、非会員: 3,000円、学生(会員・非会員): 1,000円  
**懇親会** 会員(正会員・賛助会員): 非会員: 5,000円、学生(会員・非会員): 3,000円(当日徴収します。人数把握のため事前にお申込みください。)

**銀行振込口座**  
 郵便振替口座  
 口座番号: 00140-7-404275  
 口座名称: 応用生態工学学会

URL: <https://www.ecesi.com/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=annual.comEntry>  
 FAX 宛先 03-5216-8520 E-mail: tokyo\_22th@ecesi.com



東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館  
 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1  
 TEL: 03-5841-8205(吉村研究室)  
 URL: <https://www.titech.ac.jp/maps/>  
**[交通]**  
 東急大井町線・東急目黒線「大岡山」駅(急行停車駅)下車徒歩1分  
 <主要駅からの所要時間目安>  
 「東京」駅から約30分(JR京浜東北線・東急大井町線経由)  
 「羽田空港」から約50分  
 (東京モノレール・JR京浜東北線・東急大井町線経由)

氏名(ふりがな)	所属	住所	連絡先(自宅・所属いずれかに○)	参加申込	参加費(必要箇所は)	会員No.(正・学生・賛助)
研究発表会(発表要旨書基代込)	懇親会	シンポジウム	エクスカーション	屋食の注文	研究発表会に参加しないが、発表要旨書のみ希望(研究発表会に参加される方は研究発表会参加費に発表要旨書基代が含まれています)	合計
参加申込	参加・不参加	参加・不参加	参加・不参加	参加・不参加	参加費(必要箇所は)	円
9月21日(金)~22日(土)	9月22日(土)	9月23日(日)	9月20日(木) *正会員にのみ実施、締め切りです。	9月21日(金)分 9月22日(土)分 9月23日(日)分	正会員(6,000円) 非会員(10,000円) 学生(会員 非会員) 3,000円 【当日徴収します】(会員・非会員 5,000円、学生 3,000円) 無料 正会員・賛助会員(2,000円) 非会員(3,000円) 口学生(会員・非会員)(1,000円) 口必要(1,000円) 口必要(1,000円) 口必要(1,000円)	
懇親会						
シンポジウム						
エクスカーション						
屋食の注文						
研究発表会に参加しないが、発表要旨書のみ希望(研究発表会に参加される方は研究発表会参加費に発表要旨書基代が含まれています)						
懇親会を希望する場合は請求書希望と記載してください。						合計
連絡事項						円



# 応用生態工学会 第22回東京大会 開催案内

開催日時 平成30年9月20日(木)～23日(日)

日程: 9月20日(木) エクスカーション(八ッ場ダム現場見学 他)  
9月21日(金) 研究発表会 ポスター発表、自由集会  
9月22日(土) 研究発表会 口頭発表、自由集会、懇親会  
9月23日(日) 総会(午前)、公開シンポジウム(午後)

会場: 東京工業大学 大岡山キャンパス、西9号館(東京都目黒区大岡山2-12-1)

本大会は、土木学会継続教育(CPD)プログラムに申請予定。

●申し込みおよび問合せ先  
応用生態工学会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7-5  
麹町ロイヤルビル405号室  
TEL:03-5216-8401 FAX:03-5216-8520  
E-mail:tokyo\_22th@ecesj.com

【大会実行委員長:吉村千洋(東京工業大学准教授)】

## 参加申し込み(研究発表会・総会・エクスカーション)

URLの申し込みフォームで受け付けます。また、ファックスでの申し込みも可能です。参加申込書(裏面)に必要事項を記入の上、右記へファックスして下さい。なお、詳細は裏面をご参照ください。

## 公開シンポジウム「ダム湖や周辺環境の保全と再生に向けてーダム再生ビジョンと環境保全ー」

<日時> 平成30年9月23日(日曜日) 13:00～17:00

<場所> 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール

公開シンポジウム  
参加費:無料

### <開催主旨>

ダムは近年の気候変動の顕在化による洪水や渇水リスクの増大に対応する重要なインフラですが、環境への影響もあり、アセスメントに基づく様々な環境保全措置が実施されています。ダムの機能と生態系保全を両立させるため、ダム湖やダム下流の河川環境のより適切な管理が求められています。そこで公開シンポジウムを実施し、これらの課題に関する国内外の事例・知見を総括し、今後の課題や展望を議論します。

### <プログラム>

13:00～13:05 挨拶・趣旨説明 吉村千洋大会実行委員長(東京工業大学准教授)

13:05～14:00 招待講演(仮)「メコン川のダムの影響」 John.L.Sabo(アリゾナ州立大学教授)

14:00～14:20 講演(仮)「土砂動態とダムに関する最新の知見」 角哲也(京都大学教授)

14:20～14:40 講演(仮)「ダム下流生態系の管理と課題」 竹門康弘(京都大学准教授)

14:40～15:00 講演(仮)「ダム再生ビジョンの紹介」

奥田晃久(国土交通省水管理・国土保全局調整官)

15:00～15:20 講演(仮)「グリーンレーザー等新技术の活用」

中村圭吾(土木研究所水環境研究グループ上席研究員)

15:20～15:40 講演(仮)「ダムの影響と可能な改善策に関する話題提供」

根岸淳二郎(北海道大学准教授)

### <休憩>

15:50～17:00 パネルディスカッション

コーディネーター:吉村千洋(東京工業大学准教授)、パネリスト:講演登壇者

17:00 終了予定



河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています。

### 後援予定

: 国土交通省関東地方整備局、河川財団、建設コンサルタント協会関東支部、  
土木学会関東支部、日本緑化工学会、日本景観生態学会



政務活動報告書

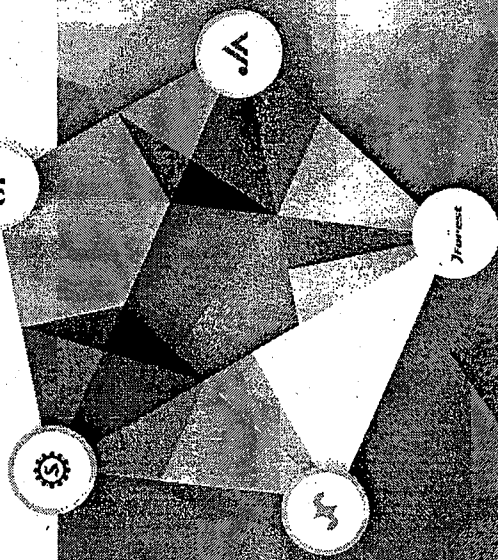
森 雅幹

活動事項	共創シンポジウム 参加
活動年月日	2018年9月24日
場 所	東京国際フォーラム
活動の相手方	共創シンポジウム
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 地方創生に向け、農林漁業と商工業のコラボしてともに創造する新しい産業づくりを学ぶ</p> <p>【内容】</p> <p>○基調講演 殿村 美樹 株式会社 TM オフィス代表取締役/PR プロデューサー</p> <p>○モデル事例報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かほくイタリア野菜の販路拡大 芦埜貴之 (河北町商工会商工振興課課長)</li> <li>・パッションフルーツを軸とした地産・地消・地活 小野桂一 (八王子商工会議所サイバーシルクロード八王子担当部長)</li> <li>・森林活プロジェクト 青木宏文 (松阪飯南森林組合森林環境部長)</li> <li>・Wakayama Ginger Ale の開発・販売 黒川秀之 (わかやま農業協同組合常務理事)</li> <li>・黒なまこを用いた新商品開発・販売 松田孝成 (大村湾漁業協同組合代表理事組合長)</li> </ul> <p>○パネルディスカッション</p> <p>【結果(成果)等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に響きストーリーが重要であること</li> <li>・10文字以内のコピー</li> <li>・8秒以内のインパクト</li> <li>・インパクトの強いビジュアル 等</li> </ul> <p>成功のカギがあると学んだ。様々な事例を研究し、県内で生かしたい。</p>
関連領収書番号	9-6

地方創生に向けた多業種連携シンポジウム & 展示

# 共創の日 2018

## Collaboration for



**農林漁業と商工業。共に創造する新しい産業が日本を元気にする。**

農林漁業と商工業が有機的につながり、共に創造する、新しい産業。地域の人々が安心して働き、生活することで、日本全体が元気になる。そんな新しい日本の産業のあり方を目指した「共創」の有志者によるシンポジウムと、農林漁業と商工業の「共創」により生まれた特産品の展示・販売イベント、開催です。

**2018.9.24 [月・休]** | **共創シンポジウム 13:00-16:00**  
東京国際フォーラム Bブロック5階 ホールB5  
**共創フェア 17:00-17:00**  
東京国際フォーラム Bブロック5階 ホールB5

# 共創シンポジウム

## Bブロック5階 ホールB5

### ○プログラム

- 12:30 開場・受付
- 13:00 開会
- 開会挨拶 (内閣官房)
- 広報動画上映
- 5団体宣言
- 来賓挨拶
- 基調講演
- モデル事例報告
- ハネルテイスカッション
- 16:00 閉会

※内容は予告なく変更になる場合がございます。

株式会社IMオアシス代表取締役 / PRプロデューサー  
**殿村 美樹**



地方と文化のPR戦略に特化した事業本部で約3,000件の実績を積み、独自のPRノウハウを確立。主な事業に「今年の果実(共創フォーラム)」「世界ハイウェイ」などのPR企画や「アワード」「ワンズ」(国際PRフォーラム)などの国際的イベントがある。



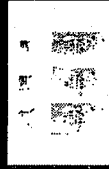
**かぼくイロリア産品の販路拡大**  
茨城県産品の販路拡大  
産地直産品の販路拡大  
産地直産品の販路拡大



**ハッションフルーツを核とした地域・地産・地消**  
ハッションフルーツを核とした地域・地産・地消  
ハッションフルーツを核とした地域・地産・地消  
ハッションフルーツを核とした地域・地産・地消



**森林産品プロジェクト**  
森林産品プロジェクト  
森林産品プロジェクト  
森林産品プロジェクト



**Wakayama Ginger Aleの開発・販売**  
Wakayama Ginger Aleの開発・販売  
Wakayama Ginger Aleの開発・販売  
Wakayama Ginger Aleの開発・販売



**県なまごを用いた新商品開発・販売**  
県なまごを用いた新商品開発・販売  
県なまごを用いた新商品開発・販売  
県なまごを用いた新商品開発・販売

### モデル事例報告者 X 和歌山大学 教授 岸上 光克

東京国際フォーラム：東京国際フォーラムの3F151519  
アウゼン：東京国際フォーラム  
お問い合わせ先：東京国際フォーラム TEL: 03-5684-7348 受付時間: 10:00-18:00 (土日祝日を除く)  
主催：内閣官房 国土交通省 国土政策推進局 国土政策推進局 国土政策推進局 国土政策推進局 国土政策推進局

政 務 活 動 報 告 書

森 雅 幹

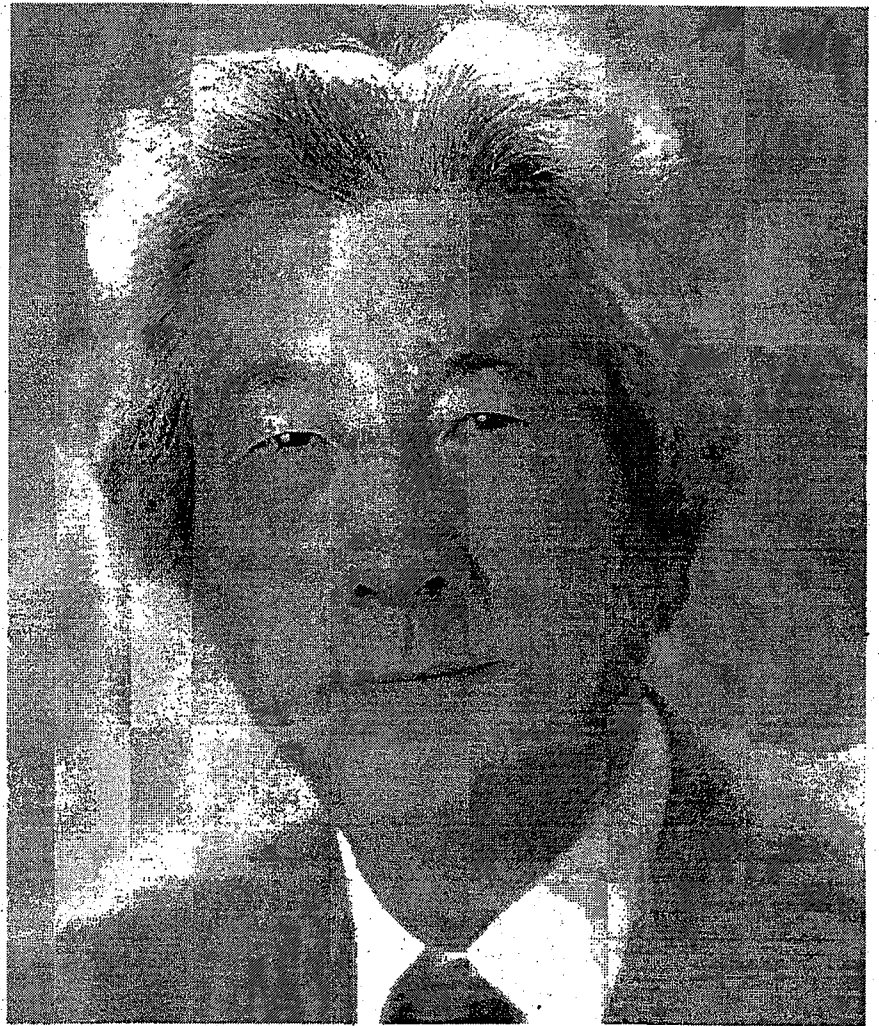
活 動 事 項	小泉純一郎氏講演会 聴講
活 動 年 月 日	H31. 2. 16
場 所	松江市 島根県民会館大ホール
活動の相手方	小泉純一郎氏
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 原発ゼロ社会に向け 小泉元首相の「日本の歩むべき道」講演を聴く</p> <p>【内容】 13:00~14:30 講演「日本の歩むべき道」</p> <p>【結果（成果）等】 会場は聴衆であふれかえり、大ホール以外の2つの会議室も超満員であった。 改めて、原発ゼロ政策が日本のとるべき道と確信した。 島根原発再稼働阻止に向け今後とも努力したい。</p>
関連領収書番号	2-5

# 小泉純一郎氏講演会

緑と水の郷・山陰で語る

日本の歩むべき道

原発ゼロ・自然エネルギー活用未来



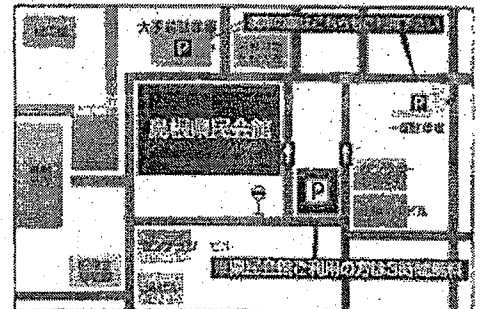
元総理大臣、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟顧問

会場 島根県民会館 大ホール 定員 1,500名

開場 12:20

講演 13:00

手話通訳・要約筆記あり  
託児あり(205号室)



2019年  
2/16(土)

主催 小泉純一郎氏講演会山陰実行委員会 託児は0才~6才まで2月6日までに申し込み  
(090-3889-3519 山崎)

参加費 500円

中学生以下・介助者1名 無料  
前売券あり・当日参加も可

チケット取り扱い/松江：県民会館・プラバホール・今井書店(学園通り店・田和山センター店)/米子：本の学校今井ブックセンター・ビッグシップ・米子市公会堂/鳥取：今井書店(湖山店・吉成店) 出雲：今井書店出雲店・ビッグハート出雲・ラピタ本店/安来：アルテピア/雲南：チェリバホール

共同代表] 飯塚大幸(一畑薬師管長)、河本六美(米子市連合婦人会会長) 北川 泉(島根大学元学長)  
小松昭夫(一般財団法人 人間自然科学研究所理事長)、花柳萌淡(日本舞踊花柳流師範)  
呼びかけ人] 小椋あけみ(グリーンコープ生活協同組合とっとり理事長)、腋部寛信(元島根県立高等学校校長)  
金森美智子(斐川生協病院院長)、津田信儀(元島根県高等学校教職員組合委員長)、矢田辰夫(知夫村元村長)  
吉田由佳(グリーンコープ生活協同組合(島根)理事長)、安田寿朗弁護士  
長谷川 稔(元倉吉市市長・鳥取県議会議員)、岡崎由美子弁護士(日本弁護士連合会副会長)